

ホテイアツモリソウ

Cypripedium macranthos Sw. var. *macranthos*
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠA類

選定理由

県内では生育地が一部の区域に限られており、その地域での環境の悪化がすすみ、個体数が減少。

分 布

国内では本州中部の亜高山帯の草原。県内では嶺北の一部に分布している。日本の分布の南限である。

種の特徴

亜高山の草原に生える。草の高さ20～40cm。葉は長楕円形で3～5枚が互生している。花は紅紫色で茎長に1個つける。唇弁は袋状で丸く径3～5cm。側花弁は唇弁を抱く。

生育を脅かす要因

登山道工事や登山者による踏みつけ、雪崩の発生等による生育地の環境悪化。園芸目的の採取。また、他県ではシカ被害も確認されている。

参考文献 清水建美ほか(2014)、福井県植物研究会(1997)、前川文夫(1971)、大橋広好ほか(2015)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

キバナノアツモリソウ

Cypripedium yatabeanum Makino
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内での確認生育地は1箇所のみで、生育数はきわめて少ない。

分 布

国内分布は北海道～本州（東北地方南部～中部地方）。県内分布は、大野市。

種の特徴

冷温帯上部～亜寒帯下部の落葉広葉樹林内や草原等に生えるアツモリソウのなかま。茎は高さ10～30cm。葉は広楕円形で2枚が互生する。葉や子房には線毛がある。花は茎頂に1個、緑黄褐色で、紫褐色の斑紋がつく。花形は特徴的、唇弁は袋状で開口部が広い。

生育を脅かす要因

登山道の整備等による、生育環境の破壊、園芸用の採取等。また、他県では、シカの被害も確認されている。

参考文献 福井県植物研究会(1997)、前川文夫(1971)、大橋広好ほか(2015)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

セッコク

Dendrobium moniliforme (L.) Sw.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では生育地が一部の区域に限られており、生育数は不明。今回の調査でも、生育地の確認ができなかった。

分 布

国内では岩手県から南に分布。県内では嶺北の一部の地域、嶺南の一部の地域に記録がある。

種の特徴

岩や樹に着生する。茎は長さ5～25cm、多肉で細長く、堅く、多数の節があり、上部の節から出る葉は2年生で長さは3～5cm。葉は2～3年程度で枯れて脱落する。花は古い茎に花枝を出し、径3cm位の白色または淡紅色を帯びた花をつける。

生育を脅かす要因

生育地の環境悪化、道路工事、園芸目的の採取等。

参考文献 群上能力ほか(2013)、前川文夫(1971)、大橋広好ほか(2015)、遊川知久ほか(2015)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○					○									